

2022 年度 第 50 回 大学院セミナー

2022 年 12 月 12 日

分 野 名	国際保健医療福祉学 分野 責任者名 (高村 昇、横田賢一) 内線(7170)
演 題	原研研究集会：研究進展報告
講 師 等	原研国際：折田真紀子先生、平良文亨先生 他 原研情報室：横田賢一先生
概要	<p>原研国際：原爆後障害医療研究所は現在福島県川内村、富岡町、大熊町と双葉町に復興推進拠点を設置し、3名の教員が常駐しながら住民の被ばく線量評価をもとにしたリスクコミュニケーションを行うと同時に、国内外の機関と連携して教育研究プロジェクトを展開している。今回は、現在の拠点を基盤とした研究成果をはじめとして、実際の拠点の活動内容について紹介する。</p> <p>原研情報室：長崎原爆被爆者追跡集団の将来人口推計 Future population of A-bomb survivors cohort in Nagasaki 原研の原爆被爆者データベースでは長崎原爆で被爆した被爆者の生存者は2022年3月末で約22,000人、平均年齢は84歳となっている。百寿者は150人を超えピークを迎えている。これまで公衆衛生および医療の進歩により死亡率は着実に低下してきたが、近年はその傾向に鈍化がみられている。今後、死亡原因の追跡がさらに重要な時期となる。被爆者研究の将来展望には今後の動向を推定することが重要であり社会的な要請もある。今般、被爆者の動的集団および固定集団の将来人口の推定を行った。Covid-19流行の効果で近年の死亡数に一時的な減少がみられるが、将来人口は2030年には1万人、2040年には千人前後となり2046年には100人を下回る見通しである。</p>
開催日時	令和4年12月21日(水) 17:30~19:30
場 所	Zoomで行います。参加を希望される方(原研以外)は、個別に原研国際の高村(takamura@nagasaki-u.ac.jp)に御連絡ください。 If you would like to participate in this seminar and need Zoom ID and Password, please contact Prof. Takamura.
備 考	本セミナーは原研研究集会として行います。

- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語
- 対面(Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語
- オンライン(Online)